

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-32	高等学校	商業	ビジネス基礎	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 701	ビジネス基礎		

1. 編修の基本方針

- ・職業及び生活との関連を重視する態度を養う観点から、本文記述とともに実社会に即した具体的事例を「事例」として掲載した。
- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本文記述に関連した興味深い考察を「コラム」として掲載した。
- ・自主及び自律の精神を養う観点から、節の終わりに節の内容の理解度を問う「確認問題」を掲載し、自学自習に取り組めるようにした。
- ・主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、「事例」と「コラム」を基にした実習課題として「+ S t u d y」を掲載し、主体的・対話的に内容の理解を深める学習ができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し	職業及び生活との関連を重視する観点から、街の全景のイラストを描き、街のあらゆるところにビジネスが存在することを想起させて、生徒の生活と教科書で学ぶビジネスの内容の関連性をイメージできるようにした。(第2号) 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、新一万円札の肖像画として採用される渋沢栄一をテーマとしてとりあげ、わが国の経済の発展に貢献した人物の功績について理解できるようにした。(第5号)	巻頭①② 巻頭③
1 章	職業及び生活との関連を重視する観点から、生徒がビジネスの世界をイメージしやすいように、イラストを活用し、ビジネスの世界の代表的な場面について記述した。(第2号)	p. 10

	他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から，日本に訪れる外国人旅行者を取り上げて経済のグローバル化について記述した。（第5号）	p. 11
	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から，ビジネスを行うにあたって，チームワークを重んじ，のぞましい人間関係を構築する必要性について，イラストをまじえて記述した。（第3号）	p. 14
	公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，ビジネスは利益を得ることを目標とするが，倫理観や責任感をもって行う必要があることを，ゴシック体の用語をまじえて記述した。（第3号）	p. 15
	創造性を培い，自主及び自律の精神を養う観点から，新しい技術やアイデアを生み出す創造性や創造性を身につけるために主体性の獲得が重要であることを，ゴシック体の用語をまじえて記述した。（第2号）	p. 15
	個人の価値を尊重して，勤労を重んずる態度を養う観点から，商業の各科目の内容と進路の関連性を記述し，生徒自身が高校生活で何をやるべきか考えさせるきっかけになるようにした。（第2号）	p. 19
	幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養う観点から，ビジネスの発展・変化とともに，ビジネスについて学び続ける必要性について，ゴシック体の用語をまじえて記述した。（第1号）	p. 19
	幅広い知識と教養を身に付ける観点から，私たちの社会とビジネスの関りについて記述した。（第1号）	p. 20～34
	公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，ビジネスが経済の原動力となり，社会全体を豊かにする役割を果たしていることを，イラストをまじえて記述した。（第3号）	p. 25
	他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から，グローバル化とビジネスの関係性の中で，ローカライゼーションの必要性やインバウンドの増加について記述した。（第5号）	p. 28

	生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、環境・エネルギー問題に対応するためのビジネスを列挙し、問題解決のためにあらゆる可能性があることを示した。（第5号） 自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、高齢者への配慮を重視するためにユニバーサルデザインを採用する企業が増えていることを、実例をまじえて記述した。（第3号）	p. 29-30 p. 33
2 章	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、コミュニケーションの役割の項目で、たがいに尊重し、誠意と思いやりをもって接することが大切であることについて記述した。（第2号） 豊かな情操と道徳心を培う観点から、好印象を持たれるビジネスマナーを生徒が実感できるようにイラストを活用して説明した。（第1号） 正義と責任を重んずる態度を養う観点から、情報の入手の項目で、間違った情報をもとにビジネスを行うことの代償について記述した。（第3号）	p. 36 p. 38～51 p. 52～56
3 章	幅広い知識と教養を身に付ける観点から、経済と流通の基礎的な内容について記述した。（第1号） 職業及び生活との関連を重視する観点から、機会費用の説明において、ビジネスの場面の例と日常生活の場面の例を併せて取り上げた。（第2号） 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、流通の進化の項目で、近年のビジネスの傾向を踏まえてオムニチャネル化する流通について記述した。（第1号）	p. 58～76 p. 62 p. 75
4 章	幅広い知識と教養を身に付ける観点から、製造業やサービス業、小売業、金融業など、さまざまなビジネスについて記述した。（第1号） 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、製造業の動向の説明として、メイドインジャパンの製品をテーマに取り上げ、わが国の製造業が世界に誇る技術を有していることを記述した。（第5号）	p. 78～112 p. 80

	豊かな情操と道徳心を培う観点から、サービス業のビジネスの特徴に関する項目の中で、おもてなしの心が世界的に評価されていることを記述した。（第1号） 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、卸売業の小売業への進出の説明において、日本のお菓子が世界的に高い評価を受けていることを記述した。（第5号） 自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、保険制度の成り立ちに、相互扶助の目的があることを記述した。（第3号）	p. 82 p. 98 p. 107
5 章	幅広い知識と教養を身に付ける観点から、企業活動の基礎について記述した。（第1号） 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、企業や社会が発展するために、経営理念や企業家精神が重要であることを記述した。（第3号） 豊かな情操と道徳心を養う観点から、企業倫理の項目で、企業が危機的状況に陥ったときに参考となる具体的事例を取り上げて記述した。（第1号） 勤労を重んずる態度を養う観点から、雇用の意義の項目のなかで、雇用の意義を説明するとともに、将来的に生産年齢人口が減少することを示すグラフを掲載した。（第2号） 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、雇用環境の変化によって新たな課題が生まれることを記述し、企業に求められる環境づくりの説明として福利厚生制度をまとめた表を掲載した。（第3号）	p. 114～140 p. 114, 120 p. 118 p. 134 p. 139
6 章	幅広い知識と教養を身に付ける観点から、売買取引を行うときの手順と代金決済の方法について記述した。（第1号） 職業及び生活との関連を重視する観点から、売買契約の項目で、生徒自身が消費者として売買取引を行っていることがわかるように、ネットショッピングにおける売買契約の成立を記述した。（第2号）	p. 142～158 p. 142

7 章	幅広い知識と教養を身に付ける観点から、売買に関する計算について記述した。（第1号） 職業及び生活との関連を重視する観点から、割合の項目で、生徒自身が買い物をするとき割合の価格表示に接していることがわかるように記述をした。（第2号）	p. 160～186 p. 160 p. 169
8 章	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、身近な地域の課題に合わせて、それに対応するビジネスの存在について記述した。（第3号） 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、観光地経営において、インバウンド消費の増加させることが課題の一つであると記述した。（第5号） 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、地域ビジネスの動向の項目において、身近な地域の伝統産業について記述した。（第5号）	p. 188～195 p. 191 p. 194

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教科書の内容は、職業との関連を大きな主題としており、授業を通じて勤労を重んずる態度の醸成ができるようにすることを取りわけ意識している。

教科書では、経済の仕組みの中におけるビジネスの意義や役割などを始めとした、ビジネスに関する基礎的な知識や技術を習得させ、自己責任や社会貢献の意義など経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、円滑にコミュニケーションを図り、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度の育成を目指している。また、商業を学ぶ目的や学び方、卒業後の進路などについてのガイダンスを行い、生徒の主体的な学習について考えさせるなど、学習の動機付けも図っている。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表，担当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-32	高等学校	商業	ビジネス基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 7 0 1	ビジネス基礎		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「ビジネス基礎」が商業に関する学科の原則履修科目であり，1年次の履修が中心であることから，生徒が興味を持って学習しながら，基礎的・基本的な事項を無理なく習得できるように，以下の点に配慮した。

- (1) 節のはじまりで，その節の内容に関する問いかけを行い，生徒自身が学習の目的を意識しながら学習できるようにした。
- (2) 生徒が事例と関連付けて本文内容を理解できるように，本文記述に対応した具体的事例を「事例」としてまとめた。また，生徒の意欲を引き出すため，本文記述に関連する興味深い話題を「コラム」としてまとめた。
- (3) 生徒が主体的かつ協働的に学習に取り組むことができるように，「事例」「コラム」に対応した実習課題として「+Study」を掲載した。テーマに応じて「調べよう」「考えよう」「話し合おう」という三つの観点のなかから課題を設定し，多様な観点で学習内容を深められるように配慮した。
- (4) 「1章 商業の学習とビジネス」では，商業の学習を学ぶ重要性とともにビジネスに対する心構えを理解する必要があることを示すために，学習指導要領の「(1) 商業の学習とビジネス」の「ア 商業を学ぶ重要性と学び方」の内容とともに，「(2) ビジネスに対する心構え」の「ア 信頼関係の構築」の内容も取り上げた。
- (5) 「2章 ビジネスとコミュニケーション」では，来客応対と電話応対をテーマとした実習として「ロールプレイング」を掲載し，生徒がビジネスマナーを実践的に習得できるようにした。
- (6) 「3章 経済と流通の基礎」では，希少性や機会費用など，経済に関する専門的な概念を取り上げる際に，生徒の実生活に即したコラムを用いて，詳しく丁寧に説明した。また，流通に関して理解しやすくするため，特集ページとして「流通の歴史と発展」について記述をまとめた。
- (7) 「4章 さまざまなビジネス」では，ビジネスごとに近年の動向を取り上げ，ビジネスに関する時事に生徒が関心を持てるようにした。

- (8) 「5章 企業活動の基礎」では、ビジネスの創造に繋がる組織運営の方法が理解できるように、意思決定やモチベーションについて取り上げた。また、ビジネスの創造における経営戦略の重要性を考慮し、競争戦略について取り上げた。
- (9) 学習指導要領の「(4) 取引とビジネス計算」の内容については、「6章 ビジネスと売買取引」と「7章 ビジネス計算」の二つの章で構成し、生徒が売買取引や代金決済の過程を理解した上で、ビジネス計算を学習できるようにした。
- (10) 「7章 ビジネス計算」では、1節と2節の終わりにそれぞれの節の内容をまとめた「練習問題」を掲載し、生徒が段階を追って理解度を高められるようにした。
- (11) 「8章 身近な地域のビジネス」では、章末の「実習 身近な地域の見どころ再発見」において、生徒に身近な地域の「地域マップ」の作成を課題とする実習を掲載し、地域の特色を生かしたビジネスの振興策を考案する学習に繋がるように配慮した。
- (12) ビジネス計算の用具としてのそろばんの歴史が学べるように、巻末④において「そろばんの歴史」を取り上げた。
- (13) 側注欄に、生徒をイラスト化したキャラクターの吹き出しを掲載し、内容の理解を助ける役割を与えた。
- (14) 側注欄に、重要用語の意味をまとめた「Word」を掲載し、用語の意味が理解しやすくなるようにした。
- (15) 本文下には適宜参照ページを示し、教科書全体の流れをつかみ、相互の内容について理解が深まるようにした。
- (16) 巻末では、本書（申請図書）の重要用語をまとめた「重要用語のまとめと解説」を掲載した。
- (17) 基本的な用語については、英語表記に慣れ親しむことができるように、英訳のルビを振った。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章 商業の学習とビジネス 1節 いざ、ビジネスの世界へ	(1) 商業の学習とビジネス ア 商業を学ぶ重要性和学び方 (2) ビジネスに対する心構え ア 信頼関係の構築	p. 8～19	(8) 3
2節 私たちの社会とビジネス	(1) 商業の学習とビジネス イ ビジネスの役割 ウ ビジネスの動向・課題	p. 20～34	5
2章 ビジネスとコミュニケーション 1節 コミュニケーション 2節 ビジネスマナー 3節 情報の入手と活用	(2) ビジネスに対する心構え イ コミュニケーションの基礎 ウ 情報の入手と活用	p. 36～56	(8) 2 4 2
3章 経済と流通の基礎 1節 経済の仕組みとビジネス 2節 経済活動と流通	(3) 経済と流通 ア 経済の基本概念 イ 流通の役割	p. 58～76	(10) 5 5

4章 さまざまなビジネス 1節 ビジネスの種類 2節 小売業 3節 卸売業 4節 物流業 5節 金融業 6節 情報通信業	(3) 経済と流通 ウ 流通を支える活動	p. 78～112	(22) 4 4 4 3 3 4
5章 企業活動の基礎 1節 ビジネスと企業 2節 マーケティングの重要性 3節 資金調達 4節 財務諸表の役割 5節 企業活動と税 6節 雇用	(5) 企業活動 ア 企業の形態と組織 イ マーケティングの重要性と流れ ウ 資金調達 エ 財務諸表の役割 オ 企業活動に対する税 カ 雇用	p. 114 ～ 140	(19) 6 2 3 2 2 4
6章 ビジネスと売買取引 1節 売買取引の手順 2節 代金決済	(4) 取引とビジネス計算 ア 売買取引と代金決済	p. 142 ～ 158	(10) 5 5
7章 ビジネス計算 1節 ビジネス計算の基礎 2節 ビジネス計算の応用	(4) 取引とビジネス計算 イ ビジネス計算の方法	p. 160 ～ 186	(16) 8 8
8章 身近な地域のビジネス 1節 さまざまな地域の魅力と課題 2節 地域ビジネスの動向	(6) 身近な地域のビジネス ア 身近な地域の課題 イ 身近な地域のビジネスの動向	p. 188 ～ 199	(12) 4 8
		合計	105